

■ジミー大西さんの能力総合診断

ジミー大西さんは、一人ぼっちで生活をしたり、誰とも交わることなく仕事をするのが苦手なタイプですから、とにかく同僚がいる職場に出かけていきたいのです。つまり、組織やチームの中で人と議論したり、競いあったり、人脈ネットワークをつくっていく中で、生きがいを感じるタイプなのです。ですから、会議などをしないまま一人で目標を設定して、誰にも相談することなく一人で予算を確保して、そして何年も専門的な仕事をコツコツと継続してやっていくというのは向いていないのです。また、人と競い合って一步でも前に進みたいという欲望がありますので、組織から厳しく管理されるような環境だと、つつい飛び出してしてしまいたくなるのです。

そういった集団の中で生きがいを発揮していくために、ジミー大西さんは足を使ってとにかく色々な人と会って、自分の考えや、人よりも秀でている能力を積極的にプレゼンテーションしていく必要があります。そして、イザというときには、そういった人脈を総動員して仕事を押し進めていくことです。つまり、ジミー大西さんは冷静に市場を読んで、お客さんのニーズにあった商品やサービスをタイミングよく出していくという商才には欠ける面がありますので、そういったバランスの良い能力をもった人物といかにして出会うか、出会ったら自分のビジネスパートナーとしてどのようにして確保していくか？これができるかどうか、成功か失敗かの分岐点となっていきます。

また、自分の才能や感性が人よりも優れているという自覚がありますから、どうしても素直に上司に従えないことがあります。『父母不全』という言葉にあるように、上司や父母がいても言うことを聞かず、勝手に行動しやすいという傾向があります。多少は、目上や上司に自分をあわせる努力もしないと転職ばかりしてしまいそうです。

■ジミー大西さんの金銭感覚

ジミー大西さんは、人をうまく使ったり、奇抜なアイデアや思想で、大きな利益を得るような仕事をしようとします。それが勢いに乗った場合は、まさに破竹の勢いで成長していくことでしょう。しかし、そのアイデアや特異な才能をうまくビジネスにできない場合は、人から使われるだけ使われて、自己を実現できないで辛い思いをすることもありそうです。また、無謀なことでもいったんやりだしたら、途中で辞めるということができないタイプですから、大きな損失を出してしまうこともありそうです。しかし、成功しても失敗しても、そんなに心が変わるといってもなく、悠々として生活をしてるのがジミー大西さんの特徴です。

■ジミー大西さんの『ほらふき度』

ジミー大西さんは、細かいところに色々気がつき、普通の人が発想できないことを発案して言葉に出していくのです。それを具体的にどのように実現していくかという戦略性、そして組織を上手に使っていくという行動力に関してはあまり得意ではありません。そういった意味では、実現できないようなことであっても言葉だけが優先してしまいますから、口先だけは立派という印象をもたれることがあります。

■ジミー大西さんの『根回し度』

ジミー大西さんは、自分のピンと来た感性と判断力に対し自信をもっています。ですから、それが正し

いという自負心がありすぎて、なかなか根回しという行為まで至りません。根回しという行為は普段からの人脈形成や酒宴での付き合いがないとできないものです。鋭敏な感性が災いして、他人のやっていることに對し批判することが多いので、イザという時に動いてあげようという気持ちになる人が少ないのです。

■ジミー大西さんの『優柔不断度』

ジミー大西さんは、上司から細かく管理されない場合に限り、ピンとくる自分の感性と判断に従って、鋭く前進していきますから、本当は優柔不断ではありません。しかし、細かいところまで管理されるような環境だと、従う振りをして、実は全く従ってないことがあるのです。さらに、損得勘定が強いため自分が損してまでも主張を貫くことはしたくありませんから、優柔不断と思われてしまうこともありそうです。

■ジミー大西さんの『責任感度』

ジミー大西さんは、鋭敏な感覚と判断力には自信がありますから、自分が納得して関心があるものに対しては、コツコツと細かいところまで追及するという姿勢があります。しかし、ジミー大西さん自身が納得していないで、上司が無理矢理方向性を押しつける場合などは、まったくその指示通りにやらないこともたびたびです。ですから、上司から見ると責任感があると評価されないこともありそうです。

■ジミー大西さんの『現状改革度』

ジミー大西さんは、自分のやっている仕事の改良や改善といったことに関しては誰よりも工夫するタイプです。その内容も、独特の鋭い感性を生かした細かい改善内容が多く、例えば5%のコストを削減するとか、性能を10%良くするといったQC的なものが得意です。しかし、無から有を生み出すような創造的な仕事はあまり向いていないようです。

■ジミー大西さんの『審美善』

ジミー大西さんは、ピンとくるセンスがありますので、美しい自然を見れば、写真を撮りたくなります。そして、美しく写真を撮るために、今度はカメラに凝り出すというどこまでも突っ込んでいく能力です。また、遺跡から掘り出されたバラバラの土器の破片などを時間をかけて復元していくといった作業や、日本刀などの伝統芸能を習得していくといった分野では個性が生きていきます。

■ジミー大西さんの『経済社会度』

ジミー大西さんは、自分の関心のある専門分野においては、誰よりも鋭く、研究を続けて行く職人気質があります。ですから、ますます高度になって、複雑になっていく、専門化された社会、経済のシステムの中でうまく興味のある分野が見つければ、発展していくことができるのです。最初からお金目的にやると経済感覚が今一歩ですからうまくいきません。